



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~
メネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

コリント人への手紙 第一 13章



「一人が一人を誘って メンバー倍増」

会長 森伸二郎

「一人が一人を誘って、メンバー倍増を」の下に今期がスタートしました。自クラブの都合だけで例会内容を決めづらい上半期にも関わらず、ドライバー委員長のご尽力で、ゲストスピーカーをお迎えしての例会を3回も開催することができ、メンバー候補者を延べ21人も例会にお迎えする事が出来ました。しかし、新入会者としてお迎えできたのは1人だけでしたが、次期の岡西会長にバトンタッチする時には、メンバー倍増が実現されていると確信しています。

人を誘うには、まず自分がそのクラブに惚れなければできません。そのクラブの一員として名を連ねている事に意義のあるクラブ、また利害関係で繋がっている事に意義のあるクラブなどもあります。しかしワイズメンズクラブは、それらのメジャーな奉仕クラブとは致命的に違ってきます。メンバー一人ひとりが、お互いを受け止めてお互いに理解しようとする出会いを大切にしているという事だと私は思っています。初めて会ったその人に、手を伸ばして握手を求める事は、まさしく目の前の人を受け入れようとする事ではないのでしょうか。この半年、何度か口にしました京都YMCA学園理事長亀井剛ワイズが仰っておられる「豊かな心の世界」は、そうした出会いの中で生まれるものだと思います。

一日の仕事を終えて例会場に入れば、自然と顔がほころび、ついつい大きな声で笑ってしまう。先日例会にお迎えしたゲストスピーカーの方が「例会のこのひと時は、皆さんにとって至福の時間ですね」と仰いました。その言葉を聞いて、プリンスクラブのセールスポイントは、まさしくこれだと確信しました。でもそのことを人に説明して伝えるのは、なかなか難しい事です。とにかく例会に引っ張り込んで、例会の雰囲気を経験していただく事以外に方法がないように思えるし、またそれが一番良い方法だと思います。「この人を」と思ったら、くどくどとクラブの説明をする前に、とにかく例会に連れてきてください。

私が、期待しているのは、一人が一人を誘ってのメンバー倍増です。それを実現することが、この先のプリンスにとって大きな力と成り得ると信じているからです。みんなで力を合わせて、魅力あるプリンスを創りましょう。

会長主題

豊かな心を求めて
YMCAと共に

Restart!
Aim for double

会長 森伸二郎
副会長 三村 良行
小泉 洋
書記 岡西 博司
会計 永濱 貴章

1月例会案内

8日(土) 新年例会

ウエルクラブのホストで平安会館で開催。Wiiを使ったゲームを楽しみ盛り上がりましょう。

19日(水) 半期総会

上半期の活動を省みて、下半期の活動がより充実したものとするために活発な討議を期待します。

例会出席

12月第1例会	12名
12月第2例会	14名
在籍者数	14名
出席率	100%
前回出席修正	

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ

12月第1例会	0円
12月第2例会	0円
累計	37,500円

ファンド

じゃがいも	271,165円
現金	2,100円

累計 314,4650円

強調
月間

IBC・DBC

BC締結で新たな風を！ 多くのワイズメンとのふれあいで違った自分の発見を！

平野 実郎 交流事業主任

今回のテーマは、部長公式訪問とEMCアワーでした。部長公式訪問ということで、阪田民明京都部長、牧野万里子地域奉仕・環境主査、中村誠司Yサ・ユース主査の3名がおいでになりました。

まず、中村主査から主題の「喜びと感動を共有しよう」について、青白キャンプに参加した際の具体的な体験を通して、参加者が幸せな気持ちになり他の人に勧めることによりその輪を広げていきたいとお話されました。続いて、牧野主査から今期初めての試みとして取り組まれたワイズデーが多くの参加者で成功裡に開催されたお話から、地域奉仕を通して次の世代の育成へと繋げていく、主題の「未来への贈り物」のご説明がありました。

最後に阪田部長から、主題の「ワイズにビジョンを、思いやりと共に」のように、夢のない所に未来はないので、長期的なビジョンを持って5～10年後の目標を作って歩いていくことの重要さを説かれました。そのためには、今のままでまとめるのではなく、若い人を積極的に受け入れて育てることにより、活動を永遠に支えていけるとの趣旨のお話がありました。

続いて、森会長からEMCアワーとして、今期の主題である「豊かな心を求めて、YMCAと共に」に込められた思いを語られました。メンバー増強が叫ばれているが、新メンバーに入ってもらふ具体的な方策は、どこからも教えてもらえない。今年のプリテン4月号巻頭記事であるYMCA学園理事長の亀井剛ワイズの文が「深く豊かな心の世界が展開する」と結ばれていたことから、今期主題が決まった。11月第2例会講演後の金子先生のメッセージや新入会員歓迎会での荒木ワイズのコメントから、私たちの活動が「生活が潤う時間」や「ストレス解消につながる」と受け取ってもらえる。とにかく友人を連れてきてこのままの姿を見てもらえれば、新入会者が増えていくのではないかと締めくくられました。

ワイズメンズクラブの活動の良さや活動を積極的に広げていくことの重要性を強く感じることができる例会でした。



第二例会 クリスマス例会

12月にしては比較的暖かい23日に、グランドプリンスホテルに於いて、京都洛中・京都エイブル・京都ウェル・京都プリンス、4クラブ合同のクリスマス例会が行われました。何のつながりも無い4クラブの合同例会との触れ込みで行われました。メンバー、メネット、コメット、孫メット、そしてゲストを合わせて総勢70人ほどの例会でしたが、平均すれば一クラブ20名程度のメンバー数になります。おまけに周りを見ると、高齢者ばかり。各クラブのお家事情を垣間見ることが出来ます。メンバー増強は急務ですが、このご時世なかなか思うようには生きません。広くよりも深くクラブライフを行うのも一案かとも思います。

例会はキャンドルサ・ビスに引き続き賛美歌の斉唱、そして日本基督教団 上賀茂教会牧師の兼松豊牧師のクリスマス礼拝と続き厳粛な雰囲気で行進します。昨年のにぎやかなクリスマス例会とは趣を異にしますが、聖夜に相応しい趣のある例会となりました。食事の後は、兼松牧師による歌とゲームで楽しませていただき、ドアプライズではアクオス液晶テレビの当選をめぐって盛り上がりしました。予定時刻を30分もオ・バしましたがとても楽しい一時を過ごすことが出来ました。

個人的な事になりますが、今年は嬉しいこと、悲しいことのとても多い一年でした。たった365日の間に本当に色々なことがありました。でも家族やメンバ - と共に健康に新しい年を迎えられることに感謝し一年を締めくくりたいと思います。





2010年10月にプリンスクラブに入会した荒木利彦と申します。私は神戸で生まれ育ち、24年間神戸から出たことが無かったのですが、大学在学中から挑戦していた公認会計士の資格取得を果たし、就職するにあたり初めて京都に来ました。京都に来た理由は、資格取得の際一緒に勉強をしていた高校の同級生が私より1年先に試験に合格し既に京都で働いており、その彼に誘われたことがきっかけです。彼は私の友人の中で人として尊敬できる数少ない人物の一人で、彼がいるならと思い京都に来ました。働き出してちょうど5年になりますが、1年目は仕事と勉強に追われる日々で、2年目にやっと自分の時間を持てるようになり、仕事以外で何か趣味を持たなければと思いタップダンスを始めました。そこで、プリンスクラブへ誘って戴いた岡西ワイズと出会いまし

た。最初は口ひげを生やしたふざけたおじさんやなぁと思っていたのですが、タップが上手いだけでなく、周りの人を楽しくさせる魅力を持っておられ、次第に一体この人は何をしている人なのだろうと思うようになりました。

そんなある日、岡西ワイズからY s Men s clubへの入会を勧められました。Y s Men s clubは勿論、YMCA に関しても全く知識は無かったので怪しく思い、また当時は仕事も忙しく、公認会計士となるための最後の試験も控えていたので、一度は入会をお断りしましたが、プリンスクラブのことはどこかで心に引っ掛けていました。と言うのも、私は仕事をする上で「For Client」をモットーに、クライアントが満足できる何か価値のあるものを提供できるよう心掛けています。また、会計・監査の仕事は企業経営に深く関連しているので、経営に関する本をよく読むのですが、「経営の神様」と言われたドラッカーの本を読んだ際、彼の基本的な関心は「人を幸せにすること」にあり、私も仕事だけではなく、生きていく上で「人の幸せ」を考えなければと思うようになりました。多分そのような思いがあったので、プリンスクラブのことが心の中で引っ掛けていたのだと思います。そして、今回入会させて戴くこととなりました。

プリンスクラブがどのようなクラブで、自分が何をできるのか、どんな価値を提供できるのかはまだ模索中ですが、自分も含め一人でも「幸せ」にできるよう頑張りたいと思います。まだまだ、経験も浅く色々ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、これからもよろしくお願ひします！

マイマイクリスマス会の報告

2010年12月25日
岡西 博司 ys



今回は、科学実験教室でレモンが発電する事を試してみよう。そして、レッドキャベツの水溶液の色（紫色）に何かを加えると色が変わる実験を行いました。

会場は京都YMCA、わがプリンスクラブのCS事業の取り組みの一環として、都合の付く方は参加して欲しいとのアナウンスの結果、荒木君が参加してくれました。残念な事に、子供達の参加は二名で、本当に寂しかったけれども、アットホームな感じで、大人五人と子供二名で楽しく遊んで、一緒にご飯を作って食べ、クリスマスプレゼントの交換をしたりで、本当に楽しい時間を過ごせた事に感謝です。

今回の実験で判ったことの一つに、人間も発電している事。特に若い人ほど発電量が多いことが判明しました。僕より荒木君の方がうんと発電していました。しかし、今日参加してくれた子供たちの方が彼よりももっと発電していました。やっぱり、これからは、どんどんと若い人に譲っていかなければならないな。何て考えてしまいました。今回は、本当に少人数でしたが、これからも多くの我がプリンスのメンバーもマイマイに係わって欲しいなと、思います。皆様宜しくお願ひいたします。

メネット会りんごファンドのお礼

メネット会長 森 節子



昨年12月の初めに皆様をお願いして実施いたしましたりんごファンドが、予定の個数30箱を上回り、おかげさまで35箱を販売することができました。たくさんのメネット、メンバーのご理解のおかげと、心から感謝申し上げます。他クラブからのご協力もいただき、うれしい限りです。サバエキャンプ場での星空観望会でのワンコインフードの販売とあわせても、今年の西日本区メネット事業への協力金の目標額5万円（私的に決めた目標ですが。）にはまだ達しませんが、あと少しがんばって資金を集めたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。ほんとうにありがとうございました。

東広島クラブからの報告

12月に入り少し暖かい日があり、安心していましたら、とんでもない、北の方では大荒れの天候、西日本も年末、お正月と寒気に覆われそうです。12月例会は人数は少なかったのですがケ-キを食べ、ちょぴりクリスマス気分になりました。23日は毎年クリスマスリ-スを送っている六方学園でクリスマス会を開かれるとのことで、なにか余興をしたらと谷本メンが手品を披露することになり、心ばかりのおみやげを持参して参加しました。（私は免許更新の高齢者講習があり参加出来ませんでした）とても好評で喜んでいただけそうです。来年もおよびが掛かるかも知れません。今年はいろいろと有り難うございました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。みなさま寒さにまげず良いお年をお迎えくださいませ。

東京サンライズクラブからの報告

久しぶりに充実した月でした。12月4日は、東京YMCA山中湖センターで「地域の子供たちのためのクリスマス」を手伝ってきました。

昨年はインフルエンザの影響でチョット淋しいものでしたが、お陰様で今年は大勢の子供達に参加してもらい、楽しいクリスマスを迎えることができました。子供達が帰った後は、富士五湖クラブとの合同例会、クリスマス祝会を持ち、夜遅くまで暖炉の前で語り合いました。

YMCA NEWS

ワイズメンの皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は、皆様のお支えによって着実な歩みが出来、新しいステージへのスタートとなります新年を迎えることが出来ました。心より一人おひとりのおささえに感謝いたします。

さて、私たちを取り巻く社会状況には、「いのちの尊厳」「他者との豊かな共存：共に生きること」「高度高齢社会」「ITの功罪」「気候変動」などの多くの課題が山積しています。このような中で、YMCAがこれまで育んできました「一人ひとりを大切にすること」「隣人に寄り添い優しく」できる人づくり、そしてそのような社会を創出することの意義をあらためて確認し、会員の皆様と共にYMCAを運営していくことがのぞまれていると考えています。皆様の知恵と力を繋ぎ、そして組織として構築することで、京都において「豊かな人間と社会」の創出への大きな貢献がされるものと確信しています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

1. 正会員希望者のためのYMCAオリエンテーション講座

京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために正会員としてYMCA運動を積極的に担ってほしいという意欲のある方を対象にYMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2011年1月28日(金)午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館302号室

対象 京都YMCA会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月20日(水)までにYMCA受付またはファックス、E-Mailにて申込みください。

2. 創立122年会員集会

日時 2011年2月19日(土)

3. 白山スキーキャンプ 参加者募集

日程 2011年2月10日(木)夕～13日(日)夜

3泊4日(3泊10食)

対象 小学1年～6年

行先 石川県白山瀨女高原スキー場

宿泊先 金沢学院大学白山麓研修センター

費用 49,500円(会員外の方は別途シーズン会費2,000円が必要となります。)

参加費 お一人300円 定員 30名(申込み順)

4. ボランティアセミナーのご案内

ちょこっとボランティア 車いす介助の講習会

スロープや点字ブロックなど、いろいろな設備を整え、だれでも行動しやすい環境を作ることは大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がさりげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。

今回は、車いすの介助方法に焦点をあて、講師をお招きし、安全で適切な誘導介助の方法を、三条通り、寺町通り、新京極通りの屋外で、実地体験をしながら教えて頂きます。

講師 中井 敬二氏(日本自立生活センターアドバイザー・車いすと仲間の会事務局)

日時 1月29日(土)午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円 定員 30名(申込み順)

がん患者さんとそのご家族へ

第49回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2011年1月15日(土)午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円(お茶代等)

すべてのプログラムに関するお問い合わせ・お申し込みは

電話(075)-231-4388 FAX(075)-251-0970

E-Mail kyoto@ymcajapan.org(ボランティアセミナー除く)

Happy Birthday

January

19日

森 伸二郎

今月のスケジュール

1月

8日(日)	新年例会 平安会館
12日(水)	三役会 会長宅
19日(水)	半期総会 グランドプリンスホテル
24日(月)	クラシックコンサートの集い 京都会館第一ホール
26日(水)	役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

半期事業報告書を半期総会資料とする

新年例会登録費 ドライバー委員長に一任

